

リーディングDXスクール事業 【実践事例】

久喜市立鷲宮西中学校

【取組内容①】 Googleチャット・Google Jamboardを用いた他者参照、複線型授業

■ 1年数学「比例・反比例」

- ①全体で確認(表にする方法、式にする方法)※ここは全体共有
- ②グラフの形はどうか思考する ※他者参照。自由進捗学習を行う。

◎グラフの形を思考する上で、ツールを用いて思考し、他者と比較しながら自分の知識へと変換していく。

■ 適応問題にチャレンジ。難易度はそれぞれで設定。(Jamboard)

◎学び方は生徒が選択する。それぞれに合ったスタイルで、個別最適な学びを促す。

■ 考えられる成果

- ①他者参照を通し、知識を自分のものとして獲得できる。
- ②データの整理をする作業効率の向上
(得た数値をグラフ化する時間を確保でき、思考し考えを深めることができる。)

4章 変化と対応 part12 ■反比例のグラフ (P.132~136)

学習課題(ねらい): 反比例のグラフの形を考えてみよう

考えよう

みなさんはスキー教室へ行きます。
男子10人を部屋割りする場合、
部屋の数を x 部屋、人数を y 人
として、どう分けるとよいですか?
表を作ってグラフに表してみま
しょう。

